

2018
Vol.19

九大別府病院 だより

Kyushu University
Beppu Hospital



乳腺チームのスタッフ

病院の理念・基本方針

理 念

患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します。

基本方針

- ◆地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進
- ◆プライマリ・ケア診療の充実
- ◆全人的医療が可能な医療人の養成
- ◆専門医療の高度化を目指した医学研究の推進
- ◆国際化の推進
- ◆生活の質が向上できる医療の提供

患者さんの権利と責務

私どもは患者さんの権利を守り、病院の理念に基づいた、公平で良質な医療を提供することを目指します。

新年の挨拶	2
新任職員の紹介	3
「紹介元の医療機関のご紹介」	4～5
～安部第一医院～	
第4回・第5回東部医療圏	
地域医療連携セミナー	6
第5回市民公開講座・乳腺チーム	7



九州大学病院別府病院
Kyushu University Beppu Hospital



新年のご挨拶

九州大学病院別府病院長

堀内 孝彦

明けましておめでとうございます。年頭にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

九州では一昨年の熊本・大分の大地震に続き、昨年7月の九州北部豪雨の大災害がありました。被害に遭われた被災地域の皆さまに心よりお見舞い申し上げます

当院は1931(昭和6)年の創立以来、今年で87年目を迎えます。現在、九州大学病院グループの一員として今後も質の高い医療を提供し続けるために、病院再開発計画を進めています。当院は別府市の中心に位置し、かつ10万㎡という福岡ヤフオク!ドームのフィールド8倍の広大な敷地を有しており、この広さと場所の良さの特長を生かし、当院の再開発計画は別府市の推進する内閣総理大臣認定の「地域再生計画」の中核施設に位置づけられています。別府市が目指している中高年が健康を維持して元気に活躍できる「生涯活躍のまち」づくりの中核施設となるべく別府病院再開発計画を策定し、その実現に向けて取り組んでいきたいと思ひます。

さて、昨年一昨年に続きフジバカマの花壇にアサギマダラが飛来しました。また、毎年4月には桜のライトアップも行っています。こうした取り組みが少しでも患者さんの癒しとなり、さらには地域の交流の場になってくれればと願っています。

本年も当院の理念である“患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指し”、職員一同誠心誠意取り組んでまいりますので、皆様にはこれまでと変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

末筆になりましたが本年が皆様にとりまして素晴らしい1年になりますよう祈念して、新年のあいさつとさせていただきます。

外科



鶴田 祐介

平成29年7月より九州大学病院別府病院外科医員として赴任いたしました鶴田祐介(つるだゆうすけ)と申します。出身は鹿児島県指宿市で別府と同じく温泉地であります。平成23年に青森県の弘前大学医学部を卒業後、平成25年に鹿児島大学消化器・乳腺甲状腺外科に入局しました。鹿児島大学病院を中心に鹿児島県、宮崎県の病院で外科医として経験を積んできました。当院では主に消化器および乳腺疾患などを対象とした臨床とともに癌に関する研究にも取り組んでいきたいと思っています。様々なことにチャレンジしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。

地域医療連携室



橋本 由可里

皆様、こんにちは。平成29年12月に地域医療連携室に赴任しました橋本由可里(はしもとゆかり)と申します。私は大分市在住ですが、ご縁があり大好きな別府で医療ソーシャルワーカーとして再スタートを迎えることができ、うれしく思います。

私たちソーシャルワーカーは、病気・高齢・障害またそれらによって引き起こされる社会生活においての問題に対して、「個人」と「環境」を相互に影響しあうものとして捉え、その接点に焦点をあて問題解決に向け支援を行う相談援助職です…と理屈っぽく書かせて頂きましたが、何かお困りのことがあったらお気軽に声をかけてください。

これから九州大学病院別府病院の一員として、今後も皆様が安心して療養に専念できるように努力していきたいと思っていますので、よろしくお願い致します。

安部第一医院

院長 安部 明夫 先生



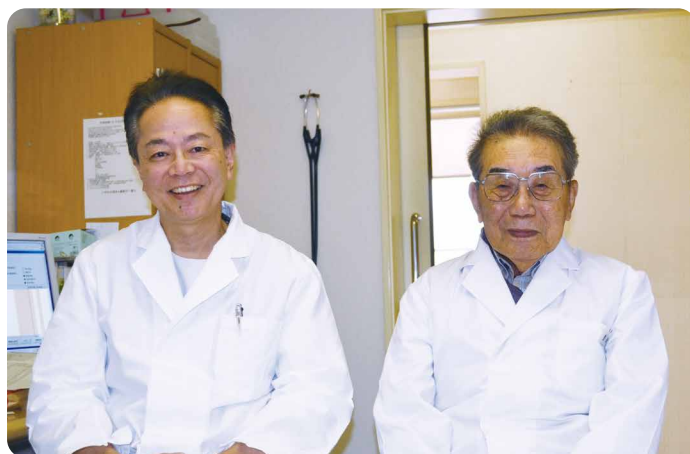
安部第一医院



安部明夫院長

私は、富士見通りで神経内科を開業しております。当院の成り立ちを思う時、父、康三郎の恩師であった、九州大学病院別府病院、当時温泉治療学研究所(温研)の2代目の所長であった、高安慎一先生のことに触れさせていただきます。高安先生は病院の前庭の像にある小野寺先生と親友であったと聞いています。高安先生は高安病(脈なし病)を発見された高安右人先生の甥御さんでした。高安右人先生は万延元年に肥前でご出生になり、明治20年に金沢医科大学の眼科の教授に就任し、その間に高安病を世界的に広められまし

た。右人先生は昭和13年に温研で直腸癌で逝去されています。おそらく甥の慎一先生を頼られて、温研で最期の療養にいられたものと思います。慎一先生は温研所長の後に、鹿児島医学専門学校の校長となり転出され、退官後は国立別府病院院長として再び別府へ戻られました。その頃鹿児島医専を卒業し国立別府病院でインターンをしていた父は、高安先生からご推薦いただき、霧島の温泉治療学研究所へ移り脳卒中リハビリテーションを研究いたしました。父は高安先生を恩師として心から慕っており、別府で開業してからも、荘園のお



温研OBの豊永先生と安部院長

◆DATA

住 所: 別府市上野口町3-40

電 話: 0977-23-3345

資 格: 大分大学神経内科 臨床教授
日本神経学会 指導医
日本認知症予防学会 認定専門医

学 位: 医学博士(広島大学医学部)

診療科目: 神経内科、老年医療、循環器科

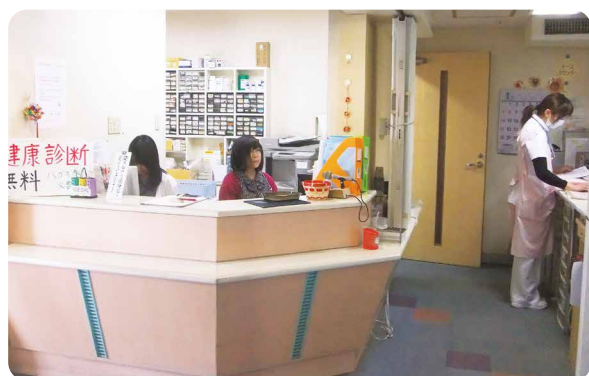
◆アクセスMAP



住まいへ主治医として往診しておりました。私も高校生の時に父の往診に帯同し、お伺いすると、ベッドで療養されていた高安先生が笑顔で右手を伸ばされて握手を求められたことを覚えています。

霧島と別府は符号するところがありまして、癌であれ脳卒中であれ、病に倒れた多くの方が集まり、温泉治療学を通じてご自分の人生について見直し療養している町です。とにかく医師は病態ばかりに目が行きますが、病気に倒れた患者さんは人生の敗者復活をかけて病と闘っておられることをあ

らためて思います。当院はものわすれ外来として認知症に取り組んでいますが、根本治療薬はいまだありません。特に認知症では問題行動(BPSD)がご本人やご家族の一番の愁訴となっています。当院では問題行動の原因を、患者さんの生活や人生全体の中から考えてゆき、非薬物学的にその緩和を図るという診療を目指しています。別府の町で時間がかかっても、認知症の方の病への闘いに伴走し、少しでもお役に立てればと思っています。



受付(左)と待合室(右)

当院へご紹介いただいている先生方の「紹介元の医療機関のご紹介」を掲載しています。広報誌は、県内の医療機関(病院・医院・クリニック)、九州大学病院本院(福岡)、別府市内の施設関係等に配布しております。掲載をご希望の医療機関は、地域医療連携室(0977-27-2055)までご連絡いただけますようお願いいたします。

(地域医療連携室長 平川 雅和)

「第4回東部医療圏地域医療連携セミナー」を開催しました。



うえお乳腺外科 上尾 裕昭 先生

平成29年5月29日(月)に、第4回東部医療圏地域医療連携セミナーを開催いたしました。当院病院長の堀内教授より開催の挨拶の後、一般演題、特別講演を行いました。

前半は、当院内科准教授の前田豊樹先生の司会で、当院内科より①「SLEに合併した帯状疱疹・サイトメガロウイルス抗原血症に対する治療」(吉村元樹医師)、②「アドレナリン優位性カテコラミン分泌を示した傍神経節腫瘍の

治療」(吉村恵美医師)、③「関節リウマチに合併したステロイド糖尿病に対するインクレチン製剤の治療」(井林雄太医師)の一般講演を行いました。

後半の特別講演は、三森外科教授の司会で、「癌の再発予防のための持続型G-CSF製剤への期待」と題して、当院外科の増田隆明医師が行いました。続いて、うえお乳腺外科院長の上尾裕昭先生より、「乳がん診療のパラダイムシフト」と題して、特別講演を行っていただきました。

「第5回東部医療圏地域医療連携セミナー」を開催しました。

平成29年11月13日(月)に、第5回東部医療圏地域医療連携セミナーを開催しました。当院病院長の堀内教授より開催の挨拶の後、一般演題、特別講演を行いました。

前半は、当院外科助教の黒田陽介先生の司会で、当院外科より①「腹腔鏡下手術施行したH.pylori除菌後胃癌の1例」(鶴田祐介医師)、②「非浸潤性乳管癌の術後1年目に肺転移再発を来した若性乳癌の1例」(増田隆明医師)、③「腹腔鏡下肝部分切除術を施行した肝細胞癌の1例」(江口英利医師)の一般講演を行いました。



大分大学医学部消化器内科学講座 清家 正隆 先生

後半の特別講演は、三森外科教授の司会で、「睡眠時無呼吸症候群の基本：診断と治療」と題して、当院慢性疾患診療部の得能智武医師が行いました。続いて、堀内病院長の司会で、大分大学医学部消化器内科学講座診療教授 清家正隆先生より、「糖尿病診療で遭遇する肝疾患の診かた・扱いかた一放置してはいけないALT上昇」と題して、特別講演を行っていただきました。

第5回市民公開講座を開催しました。



安藤 眞一 先生



畑 知二 先生

10月21日(土)別府ビーコンプラザにおいて、九州大学病院別府病院第5回市民公開講座を開催し、台風の近づく悪天候にもかかわらず、多くの一般市民の方に参加いただきました。

特別講演では、九州大学病院睡眠時無呼吸センター センター長の安藤眞一先生をお招きし、座長の畑病院 副院長 畑知二先生の進行により、「うるさいいびきが止まる時」と題して講演を行っていただきました。

安藤先生は、内科医として循環器疾患全般を診療するとともに、睡眠学会認定医として睡眠時無呼吸症候群などの睡眠に関連した疾患の診療を専門的に行っており、“睡眠障害”や“睡眠時無呼吸症候群”の症状や治療法などについて、一般の方にも分かりやすくお話いただきました。

乳腺チームが発足しました！

乳がんは女性で最も多い癌で現在も増加しています。昨年、当院乳腺外科では100例ほどの乳腺関連の手術を施行させていただき、大分県下有数の乳腺診療施設となっております。診療内容としては手術だけでなく化学療法等の薬物治療、放射線治療(放射線科)等も精力的に行っております。この度、乳腺診療の

さらなる充実のために多職種(医師、薬剤師、看護師、放射線技師、検査技師、理学療法士、栄養士、地域医療連携室)からなる乳腺チームを立ち上げました。地域医療への貢献とともに、これからの乳腺診療の発展のための基礎、臨床研究も進めて参ります。乳がん検診希望や、乳房のしこりや痛み等の乳房に症状のある患者さんがおられましたら、お気軽に地域医療連携室(0977-27-2055)にご連絡いただければ幸いです。ご紹介いただきました先生方と一緒に患者さんを診させていただければと思っております。



九州大学病院別府病院 外科 増田隆明 三森功士

九州大学病院別府病院 外来診療案内

(平成30年1月1日現在)

科名	診療区分	月	火	水	木	金
内科	リウマチ・膠原病	堀内孝彦 木本泰孝	堀内孝彦 押領司大助 塩沢俊一	木本泰孝 吉村元樹 塩沢俊一	病棟回診日	堀内孝彦 木本泰孝 押領司大助
	糖尿病	井林雄太	—————	—————		井林雄太
	血液病	—————	伊藤能清	伊藤能清		伊藤能清
	がん・腫瘍	田村真吾	田村真吾	—————		—————
	消化器	田村真吾	田村真吾	—————		—————
	慢性疼痛	—————	前田豊樹	前田豊樹	前田豊樹(再来)	—————
	骨粗鬆症	—————	前田豊樹	前田豊樹	前田豊樹(再来)	—————
	循環器病一般	樋口義洋	樋口義洋	樋口義洋	得能智武	得能智武
	心不全・肺高血圧外来	得能智武	得能智武	午後 心血管カテーテル 検査・治療日	午後 心血管カテーテル 検査・治療日 (予備日)	
	血管疾患外来					
	睡眠時無呼吸外来					
外科	一般消化器門	三森功士 江口英利 伊藤修平	手術日	三森功士 伊藤修平 黒田陽介 鶴田祐介	手術日	三森功士 江口英利 黒田陽介
	肝・胆・膵	江口英利		黒田陽介		江口英利 黒田陽介
	乳腺	三森功士 増田隆明		三森功士 増田隆明		三森功士 増田隆明
整形外科	脊椎外科 (全予約制)	手術日	東野修 飯田圭一郎 樽角清志 甲斐一宏	手術日	播広谷勝三 東野修 飯田圭一郎 樽角清志	播広谷勝三
放射線科	放射線治療	松本圭司	松本圭司	—————	松本圭司	—————
	放射線画像診断	平川雅和	坂本勝美	平川雅和	平川雅和	平川雅和
共通	上部消化器内視鏡	江口／齋藤	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	田村／江口
	下部消化器内視鏡	坂本／齋藤	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	田村／坂本
	EMR/ESD	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美
	ERCP	—————	—————	—————	—————	—————
	セカンドオピニオン	要 予 約				

※担当医は変更となる場合がありますのでご了承ください。

新患
受付時間

8:30～11:00

再
受付時間

8:30～12:00

(予約の方は除く)

・整形一完全予約制・地域医療連携室へ要Tel・放射線治療一初診 8:30～11:00

※但し土日、祝日は休診(急患は除く) 代表電話:0977-27-1600、地域医療連携室:フリーダイヤル:0120-272-518、直通:0977-27-2055

地域医療
連携室より問合せ先
ご案内

◆CT・MR・骨密度・内視鏡検査のご依頼

放射線科受付 0977-27-1722(直通)

- ・検査依頼は、電話にて受け付けております。
- ・依頼検査優先時間帯を設けています。
- ・結果は、CDデータ、報告書とともに、ご依頼いただきました先生方へ迅速にお返事いたします。

◆放射線治療のご依頼

地域医療連携室 0120-272-518(専用)
0977-27-2055

- ・乳癌、食道癌、肺癌、前立腺癌、悪性リンパ腫、癌性疼痛に対する緩和治療、その他の悪性腫瘍についてはご相談ください。
- ・放射線治療の診療は、事前に連絡をいただければ、待ち時間が少なくなるよう配慮させていただきます。

その他、外来・入院に関する
お問い合わせ

月～金 8:30～17:00 ☎0120-272-518(専用)

TEL:0977-27-2055(直通) FAX:0977-27-3008(24時間受信可)

九大別府病院だより Vol.19



九州大学病院別府病院

Kyushu University Beppu Hospital

〒874-0838 別府市大字鶴見字鶴見原 4546 番地

代表 TEL 0977-27-1600

URL <http://www.beppu.kyushu-u.ac.jp/>